

僕は振り向けなかった

まわりには、女生徒や僕の学校の仲間が、たくさんいたが、それには、お構いなしに、僕は、その瞬間じっと、彼女を見つめていた。

まわりのざわつきが消えてしまった。

まわりの音は何も聞こえなかった。

おそらく、それはほんの一瞬の間だっただろうが、僕には、時間の感覚が全くなくなってしまっていた。

僕と彼女は、絵の様に、じっと動かなかった。すべて、僕のまわりは静止している様だった。

しばらくして、まわりで、

人がゆっくり動きはじめて、

ざわめきが、かすかに、戻ってきた。

その時、まわりの女生徒の中に、僕の異常に気付き、僕の方を見ている、別の女の子が一人いた。

次ぎの瞬間だった。

今までベンチで皆と一緒にいた

その子は、僕の方に向かって歩いて来た。

そして、悲しそうな眼差しで、

僕と彼女の間の視線をさえぎった。

僕には、その子が、明らかにわざと、僕と彼女の間に、割り込んで来た様に、見えた。